

令和5年度地域の身近なスポーツの場づくりに関するオンラインセミナー
第3回 学校体育施設の有効活用について



スポーツ庁

学校体育施設の有効活用について

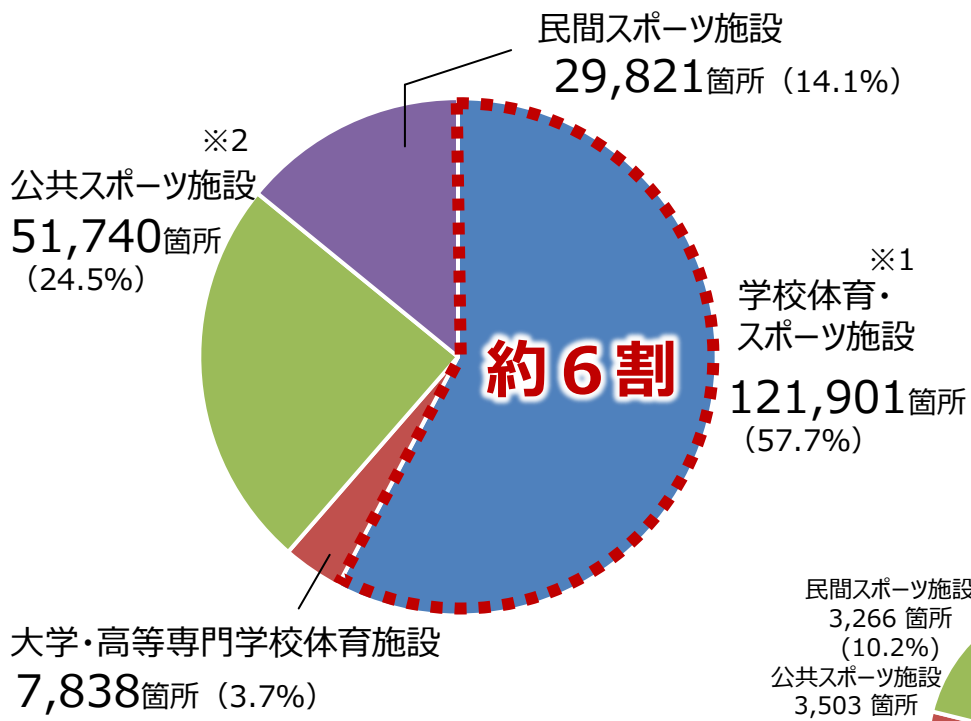
令和6年2月16日

スポーツ庁 参事官（地域振興担当） 付

【現状】我が国の体育・スポーツ施設について

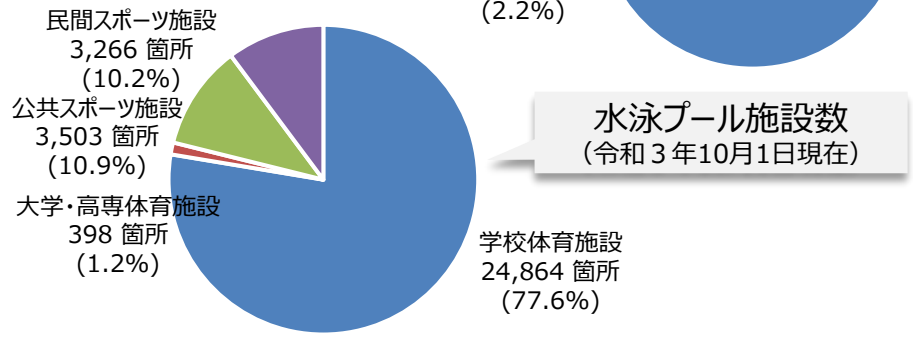
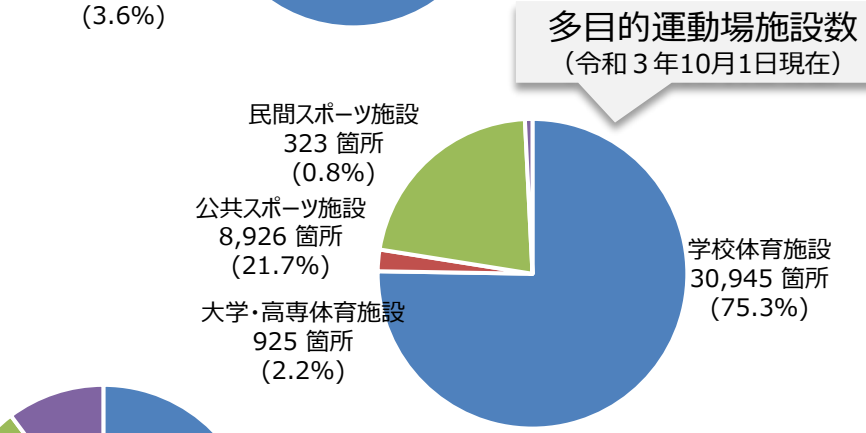
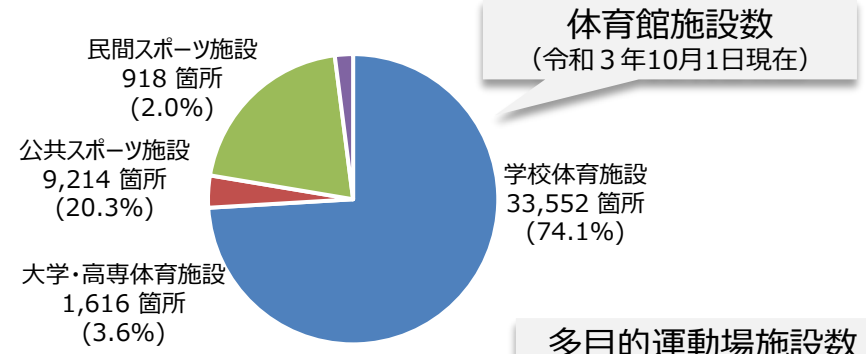
● 我が国の体育・スポーツ施設全体の約6割は、“学校体育・スポーツ施設”

我が国の体育・スポーツ施設数 (令和3年10月1日現在)



※1 「学校体育・スポーツ施設」とは、公（組合立を含む）私立（株式会社立を含む）の小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、各種学校の体育・スポーツ施設を指す。

※2 「公共スポーツ施設」とは、社会体育施設、公立社会教育施設に付帯するスポーツ施設を指す。

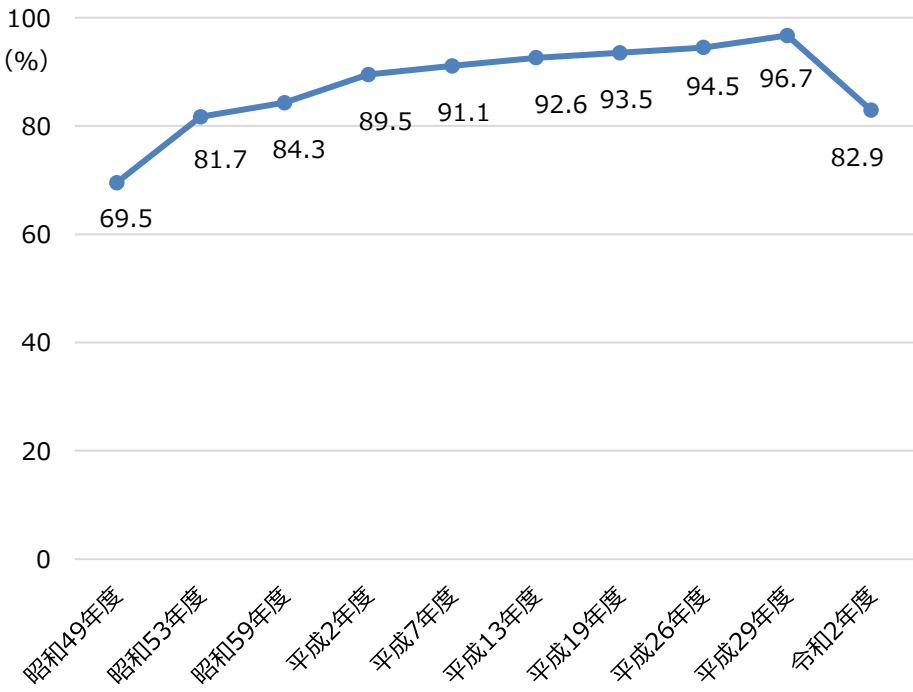


(出典) スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

【現状】学校体育施設の開放状況について

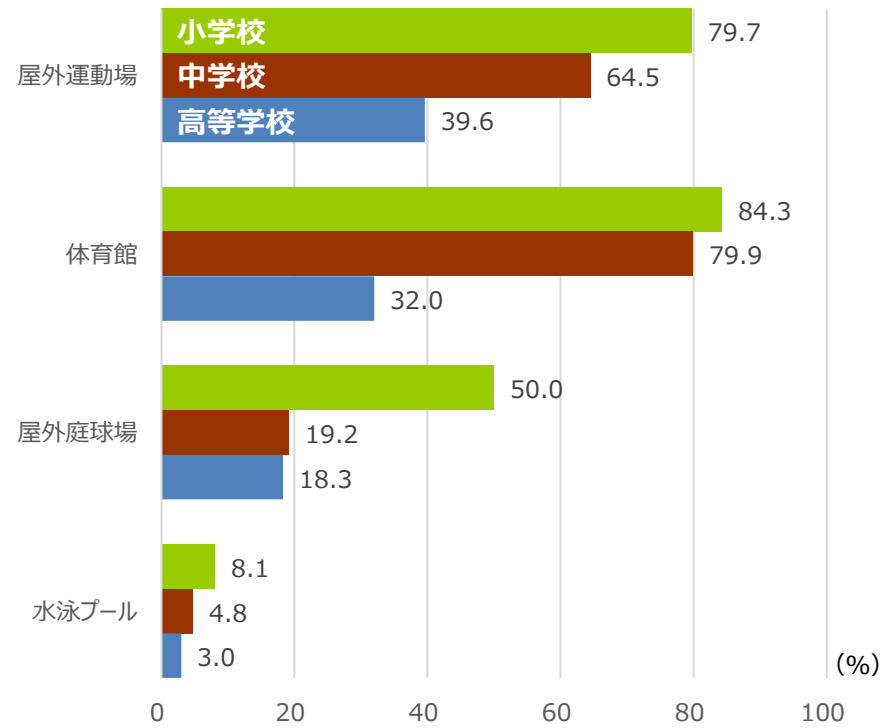
- 開放率はコロナウイルス感染症の影響で若干落ち込んでいるが、高い水準にある
- 施設種別毎では、体育館、屋外運動場の開放が進み、水泳プールは開放率が低い
- 学校種別毎では、小学校が高く、次いで中学校、高等学校の順

学校体育施設（体育館）開放率の推移



※公立小中学校の体育館を対象として、開放事業実施率の推移を示している。

施設種別・学校種別毎の開放状況（令和2年度）



※公（組合立を含む）立小・中・高等学校を対象とする。

（出典）スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

背景・目的

- 誰もが日常的にスポーツに参画することのできる機会の確保（スポーツ基本法、第2期スポーツ基本計画）
- スポーツを通じた健康寿命の延伸に対する強い期待（スポーツ実施率向上のための行動計画・中長期的施策）
- スポーツ施設の老朽化や財政難、人口減少等への計画的な対応（スポーツ施設のストック適正化ガイドライン）

スポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について官民連携等の工夫を図り如何に活用していくかが重要

学校体育施設の有効活用に向けた検討・実施の際のポイントや参考事例を、

目的（モチベーション）・ **運営**（ソフト）・ **施設**（ハード）の観点から5項目に整理し、自治体担当者向けに提示。

※学校・施設種別ごとの傾向も踏まえた一般的な留意事項もあわせて整理

① 学校体育施設をより広く利用してもらうための目的の明確化

地域のスポーツ環境充実、児童生徒への好影響、地域社会との連携推進等、施設活用の目的を幅広く検討し明確化する

- 誰もが気軽にスポーツに親しめる社会へ
- 地域で見守る学校施設（学校体育施設）へ

② 安全・安心の確保

動線の分離等により児童生徒の安全を確保するとともに、リスク分担など安全安心確保のための体制を整備する

- 一般利用者と児童生徒の動線を分離する工夫
- 安全・安心確保のための体制整備

③ 持続可能な仕組みづくり

業務・事業としての明確化や、学校教育に支障ない範囲の指定管理等の工夫を図る

- 業務・事業としての明確化
- 学校や行政からの外部化
- 民間事業者等が参画しやすい環境づくり
- 適切な受益者負担の仕組みづくり

④ 利用しやすい環境づくり

利用日時や利用可能な対象者、実施可能な競技種目など、多様なスポーツ活動のニーズに対応し、ICTも利用して学校体育施設を最大限活用する

- 学校体育施設の多様な利用推進
- ICTを活用した利便性の向上

⑤ 新改築・改修時の留意点

新改築・改修時には、地域のスポーツ施設として機能、仕様等を検討（複合化、バリアフリー化やユニバーサルデザインへの配慮等）するとともに、PPP/PFI等の事業手法の導入についても検討する

- 地域スポーツ施設としての整備
- PPP/PFI事業の導入
- 学校開放事業を前提とした施設水準の確保

ポイント・有効活用方策（参考事例）

- 我が国のスポーツ施設の約 6 割を占める学校体育施設について、地域のスポーツの場としての有効活用を推進するため、持続可能な仕組みのモデル事例を実証実験を通じて構築

学校体育施設の有効活用に関する手引き (令和 2 年 3 月)

[令和 2～3 年度]

- 行政の負担軽減だけではなく、適切な料金設定、民間のノウハウを活かした事業性の高い運営の導入など

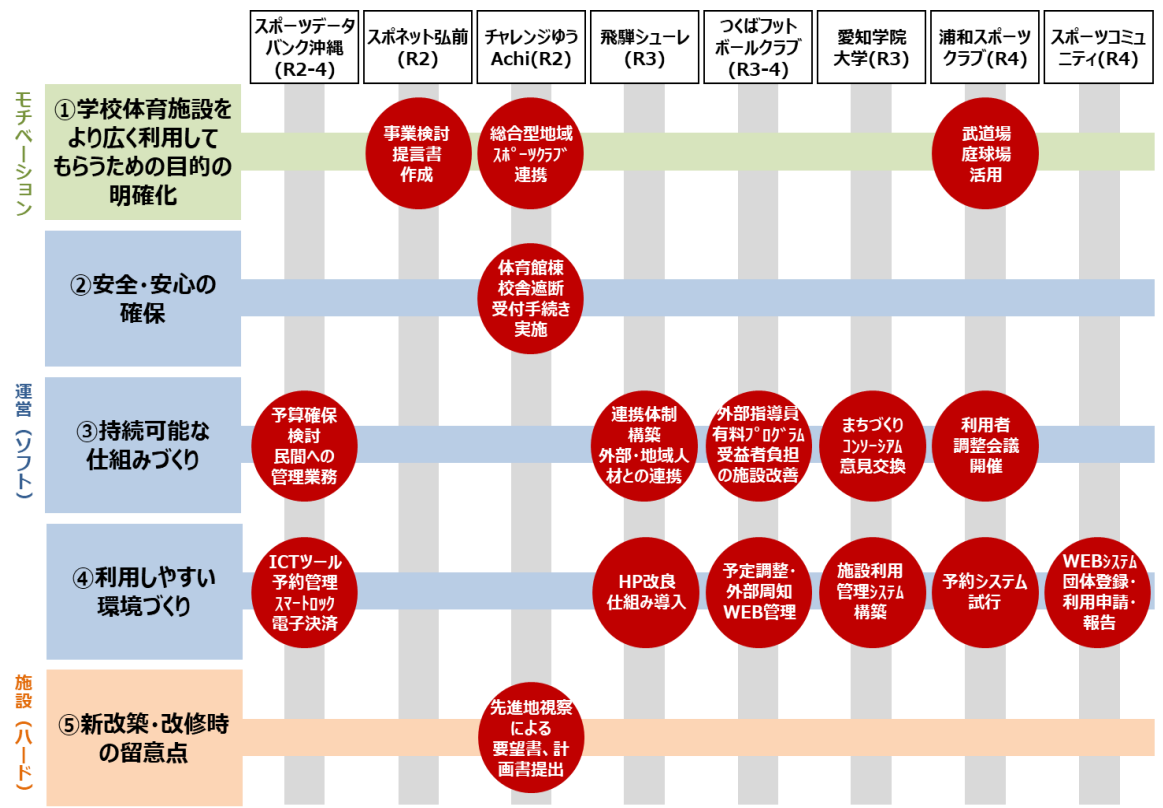
[令和 4 年度]

- 1) 一定の収益活動の導入と収益還元による事業の持続性向上
- 2) デジタル技術の活用による利便性向上、学校等の負担軽減
- 3) 水泳プール、テニスコート又は武道館の開放促進

[令和 5 年度]

- 1) 幅広いサービスを提供できるような環境づくり
- 2) 子どもたちが気軽にボール遊び等ができる場づくり
- 3) 障害者も気軽にスポーツができる環境・仕組みを構築する取組

【これまでのモデル事業の内容 (R2～4)】



令和 2～4 年度の事業報告について、スポーツ庁HPにて見ることができますので、参考にしてください。
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/1380329_00001.htm

学校体育施設の有効活用推進事業

● 過年度の採択事業（令和2年度）

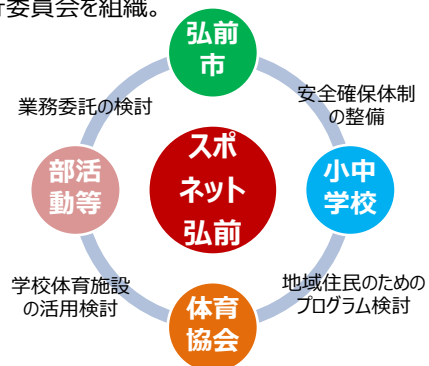
- 「学校体育施設の有効活用の手引き」を踏まえ、行政の負担軽減だけでなく、適切な料金設定、民間のノウハウを活かした事業性の高い運営の導入なども含めた**持続可能な仕組みのモデル事例を実証研究を通じて構築**するもの。
- 募集期間中（4/28～6/18）に**13団体から申請**があり、うち**3団体**を採択。

スポネット弘前

（青森県、総合型地域スポーツクラブ）

過疎地域小規模校の学校体育施設の広域連携した有効活用による、全世代のスポーツ実施率向上

- 部活動の減少により子供のスポーツ実施率が低く、成人のスポーツ施設利用も少ない、弘前市河西地区（小学校8校、中学校4校）を対象に実施。
- 全ての世代がスポーツに親しめる環境づくりを目指し、学校体育施設を有効活用する官民連携の仕組みを検討。
- 将来的には学校体育施設を拠点としたソフト事業も提供予定。
- スポネット弘前を中心に、弘前市スポーツ振興課、教育委員会、河西地区小中学校、スポーツ少年団・部活動関係者、地区体育協会、町内会等で運営委員会・実行委員会を組織。

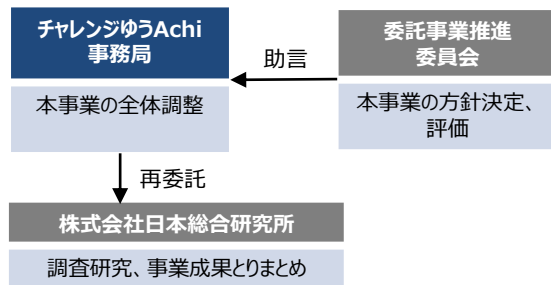


チャレンジゆうAchi

（長野県、総合型地域スポーツクラブ）

総合型地域スポーツクラブによる学校体育施設の有効活用（部活動後の活動支援等）

- 現在開放している学校体育施設（中学校体育館）を活用したスポーツプログラムの充実。
 - 中学校部活動後の「阿智中クラブ」新設
 - 新規利用者獲得のため、ニーズ分析を踏まえたスポーツ教室の改善・拡充
 - 指導者や保護者の指導力向上
- 中学校体育館の施設管理手法の検証・改善。
- チャレンジゆうAchiが主体となり、委託事業推進委員会（教育委員会、中学校関係者、スポーツトレーナー、大学教授等）の助言を受けながら実施。調査研究業務等を日本総研に再委託。

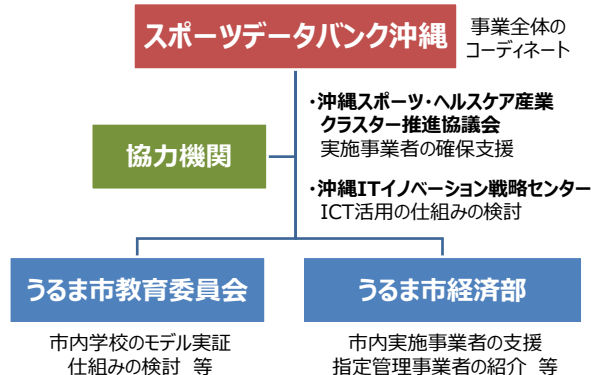


スポーツデータバンク沖縄

（沖縄県、株式会社）

ICTを活用した学校体育施設の有効活用モデルの実証及び効果検証

- うるま市内の実証フィールドとしてモデル校を選定し、民間事業者による学校施設を活用した幅広い世代向けのスポーツイベントを開催。
- イベント開催予約や参加予約等の「予約管理」や「鍵の管理」においてICTを活用。
- 実証結果をもとに、ICTを活用した管理システムの導入やスポーツ事業者からの収入（施設使用料）等を踏まえた、全体の費用対効果の検証。
- うるま市、教育委員会、学校長、体育協会、民間事業者等で構成された有識者会議を設置。



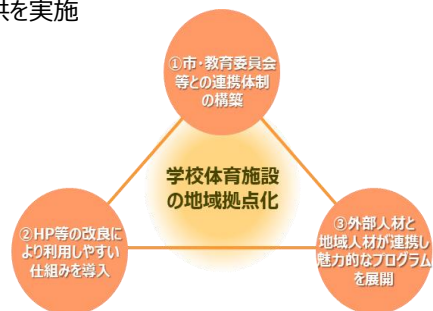
● 過年度の採択事業（令和3年度）

- 「学校体育施設の有効活用の手引き」を踏まえ、行政の負担軽減だけでなく、適切な料金設定、民間のノウハウを活かした事業性の高い運営の導入なども含めた**持続可能な仕組みのモデル事例を実証研究を通じて構築**するもの。
- 令和3年度は募集期間中（3/18～4/16）に**9団体から申請**があり、うち**4団体**を採択。

飛騨シューレ（岐阜県、総合型地域スポーツクラブ）

山間部の学校体育施設において多様な世代向けのプログラムを提供


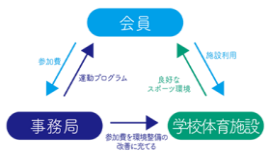
- 地域におけるスポーツプログラム充実のため、行政との連携、HPによる広報、外部人材の導入・魅力的なプログラムの提供を実施
- 具体的には、小中学校体育館において、一般・ファミリーに向けたスポーツプログラムを提供
- 次年度以降に向け、夜間の学童保育を兼ねたプログラムや部活動改革を見据えたプログラム等を検討



つくばフットボールクラブ（茨城県、総合型地域スポーツクラブ）

学校、市、クラブ3者の連携による施設環境の改善と受益者負担の試験的な導入



- 体育館と校舎が構造的に分離されていない、グラウンド等において夜間照明設備がなく、活動時間の確保ができていない現状を踏まえ、中学校、つくば市、クラブでの確認書を取り交わしの実施
- 身近な環境で良質なプログラムを展開するため、専門の外部指導者による有料のスポーツプログラムを実施
- プログラムの参加費の一部を夜間照明設備へ充当することの検討

スポーツデータバンク沖縄（沖縄県、株式会社）

ICTを活用した学校体育施設の有効活用モデル実施

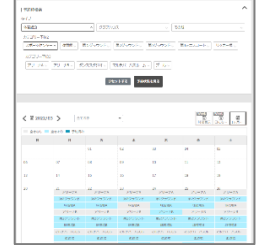

- 社会予約管理システム、スマートロック、セルフチェックインシステムを実証、電子決済の導入やGIGAスクール構想との連携を検討
- 行政職員の業務の合理化・効率化、利用者の利便性の向上、施設利用におけるセキュリティー強化等を検討
- 学校は、より地域へ開かれ始めていることから、学校体育施設の活用の可能性を検討、将来的には学校を中心としてまちづくりへの展開へ

愛知学院大学（愛知県、大学）

地域における大学スポーツ資源の有効活用を実施

- 大学のスポーツ施設の貸し出しを拡大していくために、ICTを活用したスポーツ施設利用管理システムの構築
- 先進事例（沖縄県うるま市）の視察とスポーツ・健康づくりによるまちづくりコンソーシアム（自治体・民間企業・民間団体等で構成）における意見交換と事業実施
- 大学のスポーツ施設が利用できることの認知度が低いことから、トレーナーやイベントの実施を行い、個人利用可能施設の一般開放の促進


● 過年度の採択事業（令和4年度）

- 以下の3つのテーマを含む事業を募集
 - 1) 一定の収益活動の導入と収益還元による事業の持続性向上
 - 2) デジタル技術の活用による利便性向上、学校等の負担軽減
 - 3) 水泳プール、テニスコート又は武道館の開放促進
- 令和4年度は募集期間中（3/16～4/18）に**7団体から申請**があり、うち**4団体**を採択。

浦和スポーツクラブ（埼玉県、総合型地域スポーツクラブ）

武道場、テニスコートの徹底活用

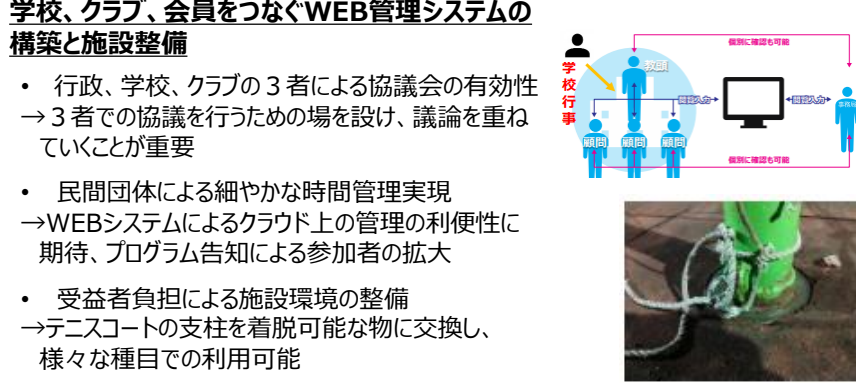
- テニスコート・武道場の有効活用
→「面貸し」形式では運営経費がまかなえないことから、「教室」運営を行うことがカギ
- 周辺住民や利用者の肯定的な意見
→利用者にはおおむね好評。学校と地域の交流のきっかけとして望ましい。
- 学校体育施設のあり方への期待
→生徒のスポーツ環境の改善と同時に、防災拠点としての質を高めることが期待される。



つくばフットボールクラブ（茨城県、総合型地域スポーツクラブ）

学校、クラブ、会員をつなぐWEB管理システムの構築と施設整備


- 行政、学校、クラブの3者による協議会の有効性
→3者での協議を行うための場を設け、議論を重ねていくことが重要
- 民間団体による細やかな時間管理実現
→WEBシステムによるクラウド上の管理の利便性に期待、プログラム告知による参加者の拡大
- 受益者負担による施設環境の整備
→テニスコートの支柱を着脱可能な物に交換し、様々な種目での利用可能



スポーツデータバンク沖縄（沖縄県、株式会社）

ICTを活用した学校体育施設の有効活用モデル促進

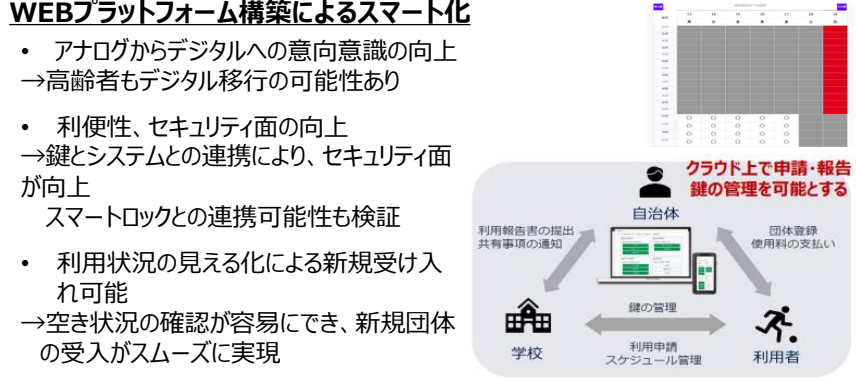
- 沖縄県うるま市
 - 条例・規則の見直しと改正案のとりまとめ
 - 民間事業者への管理運営業務委託ができるよう条例案の作成/収支の改善のため、営利プログラムが導入できるよう、規則の改正案の作成
 - ICT活用による管理業務の効率化、利用者の利便性向上
 - 予約システムとスマートロックのAPI連携による管理や利用者のオンライン決済の導入に向けた検討
- 沖縄県沖縄市・北中城村
 - ICTツールを活用した運営・管理の開始
 - うるま市での取組の横展開の可能性の検証



スポーツコミュニティ（神奈川県、株式会社）

WEBプラットフォーム構築によるスマート化

- アナログからデジタルへの意向意識の向上
→高齢者もデジタル移行の可能性あり
- 利便性、セキュリティ面の向上
→鍵とシステムとの連携により、セキュリティ面が向上
スマートロックとの連携可能性も検証
- 利用状況の見える化による新規受け入れ可能
→空き状況の確認が容易にでき、新規団体の受入がスムーズに実現



学校体育施設の有効活用に係るポイント

■ 学校体育施設をより広く利用してもらうための目的の明確化

[考え方]

- ✓ 地域スポーツを活性化し、子供や大人、高齢者や障害者の**スポーツ参加**や交流の推進による**コミュニティ形成**や**共生社会の実現**
- ✓ 地域の実情に応じて、地域と学校の一体化による**子供のスポーツ活動の最適化**
- ✓ **多様な機会を提供**し、体験格差の解消

地域と学校の一体化により子供のスポーツ機会を確保し、**生涯を通じてスポーツに親しむ環境**を整備する必要がある。

学校体育施設の有効活用が進むと…

- 子供から高齢者まで**多様な人々がスポーツに親しみ、ウェルビーイングの実現**につながるよう、新しい地域スポーツの創造に果敢に挑戦
- 子供のスポーツ機会の確保のみならず、**国民のスポーツ活動への参画や生涯にわたるスポーツライフの根幹**となるものであり、**まちづくりや住民の健康増進など、地域の活性化**にも大きく資するもの

[地域への想定される効果 (例)]



創る

- 生涯を通じてスポーツに親しむことができる機会の創出
- スポーツ・健康まちづくりの実現



高める

- ライフパフォーマンスの向上
- 健康・福祉のまちづくりの実現



暮らす

- 地域住民の居場所づくり
- ウェルビーイングなまちづくりの実現



繋がる

- 多世代交流の創出
- 共生社会や防災まちづくりの実現



波及する

- 良質なサービスの提供
- 地域経済の活性化

- **学校体育施設の有効活用に関する手引き（令和2年3月）**

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/detail/1385575_00002.htm

- **学校体育施設の有効活用推進事業（令和2年度～）**

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/1380329_00001.htm

- **過年度のオンラインセミナーにおける情報提供**

[学校体育施設における官民連携、複合化]

https://www.mext.go.jp/sports/content/20220218-spt_stiiki-000018736-1.pdf

[学校体育施設の使用料設定の考え方]

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230221-spt_stiiki-000024832_11.pdf

- **Web広報マガジンDEPORTARE**

国内スポーツ施設の約6割！学校体育施設の有効活用の方法とは

<https://sports.go.jp/tag/equipment/6.html>

- **体育・スポーツ施設現況調査（令和3年度）**

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/shisetsu/1368149.htm

ご清聴ありがとうございました



スポーツ庁 ホームページ

地域の身近なスポーツの場としての学校体育施設の有効活用

トップ > 政策 > スポーツの場づくり > 地域において、誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり > 地域の身近なスポーツの場としての学校体育施設の有効活用

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcate_top02/list/1380329_00001.htm



スポーツ庁 (japansportsagency)



スポーツ庁 (@sports_JSA)

【お問い合わせ先】

スポーツ庁 参事官 (地域振興担当) 付 施設企画係

TEL : 03-5253-4111 (内線3773) / Mail : stiiki@mext.go.jp

お気軽にご連絡いただくと幸いです